

図書館ニュース

4月の貸出は、634冊!

図書館の貸出が一番多いのは、実は4月です。新入生をはじめ、新年度を迎えた開智生が元気に図書館に来てくれます。今年は図書館で自習に励む高校生も多いようです。



さて、5月の図書館は話題の本が目白押し! 先月発表された「本屋大賞」の作品をすべて揃えました。右ページをチェック!

図書館でインタビュー!



▲シリーズものは主人公が魅力的。

シリーズものが好き!

2年2組 根来 夏葵さん

私はおばけや幽霊が怖いから、ホラー以外の小説が好きです。それも、主人公と年齢が近ければ共感できて楽しい。最近読んだ『君の臍臓をたべたい』はラストが衝撃的で泣きました。どちらかというシリーズものが好きで、『心霊探偵八雲』や『ゴーストハント』のシリーズは一巻が面白くて次々と先が読みたくなります。

非日常を楽しみたい

2年2組 川村 木乃香さん

1週間に5冊くらい読んでいます。現実とは違う異世界を楽しめるから、小さい頃から本が好きです。異世界といっても魔法の世界よりやや現実味のある非日常が好き。ジャンルで言うとミステリーが一番好きだけど恋愛ものも好き。ファンタジーも好き。結局小説全部が好きです。



▲読んだ本の冊数が増えるのが楽しい。

2015年大賞決定!! 本屋大賞

1 『羊と鋼の森』 宮下奈都



ことばで伝えられないなら、音で表せるようになればいい。ピアノの調律師を志す青年が、人として成長していく様を描いた感動ストーリー。
本屋大賞堂々の1位!

2 『君の臍臓をたべたい』 住野よる



病院で偶然出会った女の子は、余命短いクラスメイトでした。

3 『世界の果ての子どもたち』 中脇初枝



あの戦争は誰のためのものだったのだろうか。3人の女の子の物語。

4 『永い言い訳』 西川美和



交通事故で妻を失った作家が、人生を取り戻していく感動の物語。

5 『朝が来る』 辻村深月



養子縁組をした家族の母に、産みの母が現れ…。家族とは何か?

6 『王とサーカス』 米澤穂信



女性記者がネパールで事件に巻き込まれる。読み応えのあるミステリー。

7 『戦場のコックたち』 深緑野分



アメリカ軍のコックがドイツ軍との戦線で起きる謎を解く。

8 『流』 東山彰良

9 『教団X』 中村文則

10 『火花』 又吉直樹

1 『書店主フィクラーのものがたり』 ガブリエル・セヴィン



島で唯一の本屋を開業したフィクラーと、町の人々との交流を描く。

翻訳部門1位!

おもしろ理系入門書の特集コーナーもやってます



数学、化学、物理など自然科学のオモシロ本を紹介中!